

# ふれあい

(題字 室原亥十二)

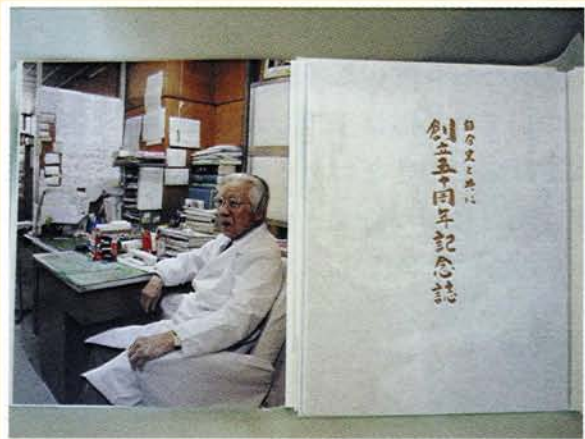
医療法人室原会創立五十周年記念誌を、平成二十年十月に刊行することが出来ました。

巻頭言にも述べましたように、之に自分史とカットを添えて彩をつけました。

振り返ってみると、五十年は決して短いものではありませんでした。時代の変遷にもまれながら、よくぞ継続出来たものだと思っています。之も一重に皆様の御協力の賜物だと感謝しています。然し、今後は所謂高齢化社会に移行して行くに伴い、当然医療・福祉・介護費の増大は、そのしわ寄せとして受益者及び供給者側ともに負担となることは避けがたく、過去の様な右上がりの環境は期待出来ないでしょう。

今後とも力を合わせて室原会の為に御尽力下さい。

医療法人室原会 理事長 室原 亥十二



## 室原内科・小児科

〒862-0949 熊本市国府 1-11-9  
Tel 096-364-3080 Fax 096-366-4668

## 菊南病院

〒861-5513 熊本市鶴羽田町 685  
Tel 096-344-1711 Fax 096-344-1726

利用者に「健康」・「希望」・「やすらぎ」を、  
その家族に「安心」を提供することにより社会に寄与し、  
職員は「生きがい」と「誇り」を持ちます。

# 大腿骨頸部骨折について

女性は男性の3倍の発生率！！



整形外科 診療部長 前田 芳郎

大腿骨頸部骨折とはいわゆる股関節の骨折です。股関節には歩く、飛ぶ、方向転換するなどさまざまな動きに際し、体重の何倍もの負荷がかかります。腰椎とともに日常生活動作の中心を担う関節と言えます。この股関節に骨折を生じると日常生活が極端に制限されることはもちろん、放置すれば寝たきりになる恐れがあります。実際、高齢化が進んでいる現状では年に数万人とも数十万人ともいわれる高齢者が頸部骨折を起こしています。ではこの、恐ろしい骨折の予防はどうすればいいのでしょうか？

まずは、転ばないことです。普段から適度な運動で筋肉の老化を防ぐことが重要です。また、最近になって、ビタミンD製剤が転倒予防に効果があるとも言われてきています。

次に、骨粗鬆症の予防です。検診などで自分自身の骨強度を知っておくことも大切になります。食生活、適度な運動、早寝早起きなど当たり前の生活サイクルが予防につながります。ではそれでも頸部骨折をおこしたらどうなるのでしょうか？

全身状態が許せばほぼ手術になります。疼痛からの早期の開放、寝たきり、褥瘡、肺炎など合併症の防止という面からみても手術を選択されることが最も多いです。私は101歳のかたを手術した経験があります。このように頸部骨折については年齢は手術しないことの原因になりません。自分は100まで生きないから大丈夫とおっしゃるかたもいますが、明日は我が身で、いつ何が起こるかわかりません。普段からの心がけが恐ろしい骨折から己を守ることでしょう。



## 秋のレシピ紹介(敬老の日のメニュー紹介)

9月15日は敬老の日、当院では毎年入院患者様に秋の味覚一杯の行事食を、御用意しております。安全で、心のこもった美味しい病院食をモットーに、潤いのある入院生活を送ってもらえるように日々努力しています。

患者様に喜んでいただいた献立の紹介を致します。

### <献立>

- ・栗御飯・甘鯛の西京焼・海老のつや煮
- ・出し巻き卵の小袖・野菜の炊き合わせ
- ・タコの柔らか煮・よもぎ生麩の田楽・松葉銀杏
- ・みょうが甘酢・ササミのみじん粉揚げ・一寸豆の塩茹で
- ・寿かまぼこ・栗の渋皮煮・お吸い物
- ・牛乳パフロアメロンソース



菊南病院は、

## 「職場風土改革促進事業」に取り組んでいます。

### ■院長メッセージ

菊南病院では、「次世代育成支援対策推進法」に基づき、次世代育成支援について地域に貢献できるべく「一般事業主行動計画」を策定し、目標に向けての取り組みをしています。

また、このたび財団法人21世紀職業財団熊本事務所長より「職場風土改革促進事業実施事業主」の指定を受けました。性別・年齢・社員区分の別なく、職員が仕事と子育てを両立しながらその能力を十分発揮するための環境整備を行うとともに、仕事と生活の調和された「ワークライフバランス」を目指し、職場環境の整備に努めてまいります。

仕事と家庭、仕事と育児を両立させる仕組みを整備し、職員の生活を充実させると同時に、当院にとってさらには社会にとって優秀な人材の確保に努めています。

女性が働き続けることを困難にしている原因の大きなものは育児です。これに対して制度、仕組みを整備し就業を継続できるよう取り組んでまいります。

平成20年5月24日

菊南病院 院長 室原 良治

### ■2008年度 菊南病院の職場風土改革促進事業の取り組み内容

#### ①取組計画の策定

性別・年齢・社員区分の別なく、職員が仕事と子育てを両立しながらその能力を十分発揮するための環境整備を行うとともに、仕事と生活の調和された「ワークライフバランス」を目指し、職場環境の整備に努める。仕事と家庭、仕事と育児を両立させる仕組みを整備し、職員の生活を充実させると同時に、当院にとってさらには社会にとって優秀な人材の確保に努める。女性が働き続けることを困難にしている原因の大きなものは育児。これに対して制度、仕組みを整備し就業を継続できるよう取り組んでいく。

#### ②職場風土改革事業の取組について事業主を代表するものによる社内外への公表

(院外)取組姿勢の見直し行い、見直した内容をホームページと広報誌等に掲載する。

(院内)取組姿勢の見直し行い、見直した内容をポスター掲示と院内ネットワークに掲載する。

#### ③管理職層への研修

21世紀職業財団が作成したパンフレットやDVDをもとに研修会を開催する。また、役職者へ自己診断チェックを行い、集計や統計をもとに報告会、検討会等を開催する。

#### ④両立支援制度の労働者への周知徹底

第2年度に見直した取組内容を全職員対象の研修会で周知を図る。併せてポスター掲示、院内ネットワーク等にも掲載し周知を図る。

#### ⑤勤務体制や仕事の進め方の見直し

労働者が相互にカバーできる業務分担の見直し、情報の共有化の仕組みづくりを行う。子育て期の職員や育児休業後の現職復帰者等の体験談等をもとに実状にあった取組を検討する。職員がどのような制度等を望んでいるのかアンケートを取り、その結果を踏まえて見直しを進めていく。

#### ⑥勤務時間等の雇用管理の見直し

週1回のノー残業デイの実施。年次有給休暇取得促進を図る為に、誕生月休暇や記念日休暇、配偶者出産休暇等の制度を導入する。子育て期の職員や育児休業後の現職復帰者の体験談等をもとに実状にあった取組を検討する。職員がどのような制度等を望んでいるのかアンケートを取り、その結果を踏まえて見直しを進めていく。

(本件に関するお問い合わせ・ご相談先：職業家庭両立推進者 西村俊也)

# ◎外来担当医のお知らせ◎

菊南病院

	月	火	水	木	金	土
午前	室原	赤星	室原	室原	室原	室原
	古庄	加古	古庄	加古	加古	赤星
	前田	前田	前田	寺田	前田	前田
午後	室原(予約)	—	室原(予約)	—	室原(予約)	居残り 当番医
	加古	中島	大脇	中島	古庄	
	—	—	守屋(隔週)	—	赤星	

- 診察日・時間：月～土曜日 午前9時～午後5時
- 休診日・時間：日曜・祝祭日・年末年始等 但し、急患の場合は24時間受付いたします。
- 整形外来（前田医師）・脳神経外科（守屋医師）

## 室原内科・小児科

	月	火	水	木	金	土
午前	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二 高血圧外来 (Dr.梅田)	室原亥十二	室原亥十二 毎月第二・第四金曜日 腹部工コ一検査	室原亥十二 糖尿病外来 (Dr.後藤)
午後	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二 喘息外来 (Dr.藤井)	室原亥十二 心臓外来 (Dr.室原良治)	室原亥十二	室原亥十二 心臓外来 (Dr.室原良治)

- 診察日・時間：月～土曜日 午前8:30～午後6:30
  - 休診日・時間：日曜・祝祭日・年末年始等
- 《その他の教室》毎月第二火曜日 午後2時より「生きがい塾」  
毎週木曜日・午前 「ハツラツ健康運動教室」  
毎週土曜日・午後 「気功教室」中国医療気功整体師 池田知良先生

### 7月～10月迄の行事

- ・ 7/7～9 福祉体験学習（西合志中学校）
- ・ 7/8～10 ナイストライ（清水中学校）
- ・ 7/20 火の国レガッタ
- ・ 8/18 特定高齢介護予防（口腔機能向上）
- ・ 9/1 介護訪問調査
- ・ 9/16～18 ナイストライ
- ・ 9/27 院内各部署発表会
- ・ 10/14 熊本市保健所立ち入り調査



### 編集後記



米大統領に「オバマ」氏変革の実現を約束と大きな活字がとびこんできました。日本では、改革を訴えて小泉元首相は国民の支持を得ました。今、世界の金融危機は暗いニュースが続きます。現状打破し、真の人間の幸福をねがう救世主が現れてほしいものです。

今年、室原会もめでたく50周年を迎え、理事長長念願の「医療法人室原会創立50周年記念誌」が刊行されました。これも病院の発展に真摯な情熱をもってご尽力いただいた皆様のおかげと、心から感謝申し上げます。理事長のモットーは「努力！気合！」で85歳まだ生涯現役と老骨にむち打って頑張っております。

ます。今後とも、室原会のご支援よろしくお願い致します。

54号の秋の「ふれあい」は先ず、整形外科の前田先生に「大腿骨頭部骨折」についての貴重な記事、熟読なさって下さい。

実は、私も転んだことがないと自慢していたら、先日近所の大理石のお玄関で転倒。暫く痛みで立ち上がれませんでした。ほうほうの体で帰宅。すぐ水で冷やし湿布をし、レントゲン撮影に行きました。幸い、骨折はまぬがれましたが、肉離れとの診断でした。激痛はありましたが骨折がないので「安心」と楽々家の私はあまり気にせず、生憎次々と訪れる行事にも参加、動き廻っていました。2週間ぐらいたって外もものほどの内出血に気づき、もつとやさしく患部をいたわらなければと、反省しました。加齢もあり、完治するのに約3ヶ月かかりました。先生がおっしゃる様に、明日はわが身、何がおこるか分かりません。筋力の弱った高齢者は殊に「転倒防止」頭に入れておきたいと心に誓いました。私のお恥ずかしい体験談をまじえての忠告です。ご用心！ご用心！

又、菊南病院は「職場風土改革促進事業」に取り組んでいる記事をとおりあげております。この項目もじっくりご覧下さい。

いつも心のこもったお食事を届けて下さる栄養室の皆様、献身的な愛いっばいのお料理ありがとうございます。敬老のメニューもご参考になさって下さい。

日毎に冷気が加わり、暮れゆく秋を覚えます。どうぞお風邪には充分ご注意下さい。

元気が一番と又叫んでいます。

(編集長 室原鈴子)